

平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成27年2月6日

上場会社名 株式会社ヨシックス 上場取引所 東・名
 コード番号 3221 URL http://www.yossix.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉岡昌成
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営企画室室長 (氏名) 大崎篤彦 (TEL) 052(932)8431
 四半期報告書提出予定日 平成27年2月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の業績（平成26年4月1日～平成26年12月31日）

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	6,627	—	565	—	687	—	421	—
26年3月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	187.00	179.25
26年3月期第3四半期	—	—

- (注) 1 当社は平成26年3月期第3四半期においては、四半期財務諸表を作成していないため、平成26年3月期第3四半期の売上高等の各金額、対前年同四半期増減率及び平成27年3月期第3四半期の対前年同四半期増減率の記載をしております。
- 2 当社は、平成26年5月13日付で普通株式1株につき普通株式2.5株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額を算定しております。
- 3 当社は平成26年12月24日に株式会社東京証券取引所JASDAQ(スタンダード)及び株式会社名古屋証券取引所市場第二部に上場しているため、平成27年3月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額は新規上場日から当第3四半期末までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第3四半期	5,164	2,792	54.1	1,128.44
26年3月期	3,568	1,823	51.1	810.63

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 2,792百万円 26年3月期 1,823百万円

(注) 当社は、平成26年5月13日付で普通株式1株につき普通株式2.5株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり純資産額を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	20.00	20.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無
 当社は、平成26年5月13日付で普通株式1株につき2.5株の割合で株式分割を行っております。平成26年3月期及び平成27年3月期第2四半期については当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

3. 平成27年3月期の業績予想（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,820	15.5	671	80.1	854	56.3	514	33.9	222.60

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
 (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	27年3月期3Q	2,475,000株	26年3月期	2,250,000株
② 期末自己株式数	27年3月期3Q	一株	26年3月期	一株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	27年3月期3Q	2,256,545株	26年3月期3Q	一株

- (注) 1 当社は、平成26年5月13日付で普通株式1株につき普通株式2.5株の株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して発行済株式数 (普通株式) を算定しております。
 2 当社は、平成26年3月期第3四半期については、四半期財務諸表を作成していないため、「期中平均株式数 (四半期累計)」を作成しておりません。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P2「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第3四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、日銀による金融政策や政府による経済対策の効果もあり、それらによる期待感から円安及び株高が進行し景気の回復期待が高まる一方で、円安に伴う原材料価格の高騰や欧州経済の金融不安及び消費税による消費マインドの低下等、依然として先行き不透明な状況が続いております。

外食業界におきましては、原材料価格の高騰や人材確保に伴う人件費の増加、更には同業他社との競争が激化の一途を辿る状況にあり、引続き厳しい経営状況にありました。

このような環境のもと、当社の当第3四半期累計期間の売上高は、6,627百万円となりました。当社の主力業態は「や台や」業態、「や台ずし」業態及び「ニパチ」業態であり、その中でも「や台ずし」業態を中心に新規出店に努めてまいりました。

「や台ずし」業態は新規出店17店舗を実施し、店舗数が83店舗（フランチャイズ含む）となり、総店舗数の50.6%を占めております。新鮮な魚介類をお値打ち感の高いメニューで提供することにより、当業態の売上高は3,658百万円となりました。「や台ずし」業態は全国的に業績が好調に推移しております。これは本格職人にぎりの新鮮な魚介類を用いたずしを低価格で食すことができ、且つ居酒屋メニューも合わせて食することができる業態であることによるものと考えております。

以上の結果、店舗数につきましては、新規出店19店舗、退店6店舗、業態転換3店舗を実施し、平成26年12月31日現在の店舗数は164店舗（フランチャイズ含む）となりました。

また、当第3四半期累計期間の売上高は6,627百万円、営業利益は565百万円、経常利益は687百万円となり、四半期純利益は421百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末における資産の部は5,164百万円、負債の部は2,371百万円、純資産の部は2,792百万円であり、自己資本比率は54.1%となりました。

(流動資産)

流動資産につきましては前事業年度末に比べ1,456百万円増加し、3,146百万円となりました。これは主に現金及び預金が1,423百万円、たな卸資産が57百万円増加したことによるものであります。

(固定資産)

固定資産につきましては前事業年度末に比べ139百万円増加し、2,017百万円となりました。これは主に建物が94百万円増加したことによるものであります。

(流動負債)

流動負債につきましては前事業年度末に比べ602百万円増加し、1,734百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金が349百万円、未払金が132百万円増加したことによるものであります。

(固定負債)

固定負債につきましては前事業年度末に比べ24百万円増加し、636百万円となりました。これは主に長期借入金が22百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

純資産につきましては前事業年度末に比べ968百万円増加し、2,792百万円となりました。これは主に資本金及び資本剰余金が新株発行によりそれぞれ273百万円増加し、利益剰余金が421百万円増加したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期累計期間の業績は、概ね計画通りに堅調に推移いたしましたので、平成26年12月24日に公表いたしました通期業績予想につきまして、現時点での変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,462,945	2,886,716
売掛金	45,409	51,103
完成工事未収入金	6,087	551
たな卸資産	57,857	115,479
その他	118,097	92,717
貸倒引当金	△59	△25
流動資産合計	1,690,337	3,146,543
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,030,511	1,124,808
その他	332,808	373,448
有形固定資産合計	1,363,320	1,498,256
無形固定資産	9,704	9,477
投資その他の資産	505,282	509,881
固定資産合計	1,878,306	2,017,615
資産合計	3,568,644	5,164,158
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	262,152	612,003
1年内返済予定の長期借入金	106,716	98,358
未払金	296,072	428,865
未払法人税等	137,526	149,060
その他	330,117	446,362
流動負債合計	1,132,585	1,734,650
固定負債		
長期借入金	171,732	194,198
役員退職慰労引当金	260,534	276,126
その他	179,855	166,280
固定負債合計	612,121	636,604
負債合計	1,744,706	2,371,255
純資産の部		
株主資本		
資本金	44,050	317,290
資本剰余金	72,155	345,395
利益剰余金	1,707,545	2,129,534
株主資本合計	1,823,750	2,792,220
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	187	683
評価・換算差額等合計	187	683
純資産合計	1,823,937	2,792,903
負債純資産合計	3,568,644	5,164,158

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	当第3四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	6,627,555
売上原価	2,176,247
売上総利益	4,451,308
販売費及び一般管理費	3,885,836
営業利益	565,471
営業外収益	
協賛金収入	133,380
その他	8,110
営業外収益合計	141,490
営業外費用	
支払利息	850
株式交付費	6,845
株式公開費用	11,250
その他	169
営業外費用合計	19,115
経常利益	687,847
特別利益	
固定資産売却益	4,074
特別利益合計	4,074
特別損失	
固定資産除却損	4,881
店舗閉鎖損失	900
減損損失	1,807
保険解約損	840
特別損失合計	8,429
税引前四半期純利益	683,492
法人税、住民税及び事業税	248,126
法人税等調整額	13,376
法人税等合計	261,502
四半期純利益	421,989

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成26年12月24日付で、株式会社東京証券取引所 J A S D A Q (スタンダード)及び株式会社名古屋証券取引所市場第二部に上場いたしました。

株式上場にあたり、平成26年12月23日を払込期日とする有償一般募集(ブックビルディング方式による募集)による新株式225,000株の発行を行いました。

この結果、当第3四半期会計期間において、資本金及び資本剰余金がそれぞれ273,240千円増加し、当第3四半期会計期間末において、資本金が317,290千円、資本剰余金が345,395千円となっております。

(セグメント情報等)

当社は、飲食事業のみの単一セグメントであり重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。